



MOROYAMA PHOTO SNAP NEWS

東京オリンピック代表選出 おめでとうございます！

森さやか選手が東京2020オリンピックの女子ソフトボールに代表として選出されました



3月23日、毛呂山町出身の森さやか選手（32歳）が東京2020オリンピックの女子ソフトボールに代表として選出されました。森選手は、光山小学校、川角中学校を卒業後、星野女子高等学校（現 星野高校）、東京女子体育大学に進学し、現在はビックカメラ高崎に所属しています。2019年には日本女子ソフトボールリーグでベストナインに選ばれており、東京オリンピックでの活躍が期待されます。

一本の矢に願いを込めて……

いずもいわい
出雲伊波比神社 春のやぶさめが行われました

3月14日、晴天のなか出雲伊波比神社で、春のやぶさめが行われました。春のやぶさめでは6歳以下の子どもが馬に乗り、静止した状態で的を射る「願的」を行います。今年乗り子を務めたのは、毛呂本郷区の竹川俊 太郎ちゃん。最初は少し緊張した表情を見せた俊太郎ちゃんですが、見事に矢を的に当て、温かな拍手に包まれ大役を終えました。また、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関係者のみで行われました。



よしひろ 教育長に高沢佳弘氏が 就任しました



栗田博教育長（平成23年10月1日～令和3年3月31日）の退任に伴い、毛呂山町議会3月定例会で教育長を高沢佳弘氏とする同意がなされ、4月1日に高沢佳弘氏が新教育長に

就任しました。高沢氏はこれまで坂戸市立城山中学校教頭、毛呂山町教育委員会学校教育課長、毛呂山中学校校長、坂戸市立若宮中学校校長、川角中学校校長などを歴任してきました。

児童・生徒の安心安全のために

いるま野農業協同組合より横断旗の寄附

3月17日、いるま野農業協同組合から町に横断旗127本が寄附されました。この横断旗は、児童生徒の交通事故を防ぐため、登下校時等に教職員・保護者が使用するもので、いるま野農業協同組合から、3年に1度、寄附していただいています。今回いただいた横断旗は、各町立小・中学校に配布しました。



阿諏訪の名所・旧跡が 冊子になりました



阿諏訪地区の名所を48枚のいろは詩と絵にし、まとめられた冊子が作成されました。このいろは詩は、今から30年以上前の平成元年に阿諏訪地区の小峯甲子夫さん、(故)大野孝昭さん、(故)小長谷市太郎さんによって作成されたものですが、広く阿諏訪の名所を知ってもらい、この先も残していきたいという思いから、今年の2月に冊子として発行され阿諏訪地区の希望者に配布されました。なお、この冊子は図書館、ウイズもろやま、中央・東公民館、山根荘でも見ることができます。

ボランティア活動 ありがとうございます

中学生ボランティアに感謝状が贈呈されました



3月11日、平成30年度から令和2年度の3年間にわたって、ボランティアとして子ども会活動や地域のイベント活動に協力していただきました毛呂山中学校および川角中学校の3年生、8人の皆さんに、毛呂山町教育委員会・毛呂山町子ども会育成会連絡協議会から事業への協力に対して感謝状が贈呈されました。

えきびょう 疫病退散と心の平穏を祈り、 3個の千羽鶴を作成

毛呂山小学校の子どもたちが千羽鶴を作りました



毛呂山小学校ではPTAの企画で、千羽鶴の作成を行いました。これはコロナ禍で、生活を支えてくれる医療従事者の方々や先生たち、お家の人そして自分に「ありがとう」や「がんばってるね」のエールの気持ちと疫病退散を願って作られたものです。自宅で折った鶴を集めたところ、子どもたちの熱い思いから、予想を大きく上回る三千羽ほどが集まり、3個の千羽鶴が完成しました。この思いのこもった千羽鶴は、毛呂山小学校校舎内に飾られています。

住民サービスの向上や地域の 活性化を

日本郵便株式会社との包括連携に関する協定締結



2月15日、毛呂山町と日本郵便株式会社は、それぞれが有する人的・物的資源を有効に活用して、地域の活性化および住民サービスの向上等を図るため、「包括連携に関する協定」を締結しました。すでに締結している「地域における協力に関する協定」および「災害発生時における毛呂山町と町内郵便局の協力に関する協定」と合わせ、今後さらなる住民サービスの向上や地域の活性化に向けた取り組みを進めてまいります。